

協力体制をアピール

参院選愛知選挙区で自公

自民党の小林功県議(豊川市選出)と公明党の渡会克明県議(豊橋市選出)は6日、東海日日新聞社を訪れ、参院選愛知選挙区での選挙協力をアピールした。

同選挙区では、公明公認の元厚生労働省職員、里見隆治氏(48)を自民が推薦する。自公連立政権について、渡会氏は「安定してきた」と強調した上で、今回の選挙協力を「あらた

めて政権与党の信頼関係を作る一歩だ」と歓迎した。

小林氏は「政権政党として、愛知では2議席を取らないといけない」と決意を

述べた。遅れている東三河のインフラ整備を引き合いに国土交通相を公明党から出している手前、里見氏が当選すれば県議団として国交省の要望活動をしやすいとなると指摘した。

改選数4の参院選愛知選挙区を巡っては、民進党が現新計2人を擁立するのに対し、自民の立候補予定者は現職の藤川政人氏のみ。共産党も新人1人を擁立するため、自民は里見氏の応援に懸命だ。



がちりと握手を交わす小林氏(左)と渡会氏(右) (東海日日新聞社で)